

救急診療臨床研修プログラム（1年次必修：3ヶ月間）

I. 一般目標

1. 各種救急疾患、損傷に対する初診時の対応とこれに必要な技能、知識を習得する。
2. 集中治療に必要な技能、知識を習得する。
3. 救急医療システムを習得する。

II. 研修施設と研修指導責任者・指導医

- 1) 研修施設 医療法人社団誠馨会 新東京病院
- 2) 研修指導責任者・指導医 菊地 浩之（きくち ひろゆき）

III. 行動目標および評価項目

評価記載 A：到達目標に達した
 B：目標に近い
 C：目標に遠い

1. 救急医療・搬送システムの理解

自己評価

A B C

指導医評価

A B C

指導医サイン

2. 救急疾患の緊急度・重症度の鑑別と治療について説明ができる。

1) 各種ショックの鑑別、治療

A B C

A B C

2) 意識障害の鑑別

A B C

A B C

3) 呼吸困難の診断、治療

A B C

A B C

4) 胸痛の鑑別と初期治療

A B C

A B C

5) 急性腹症の鑑別と緊急手術の適応と判断

A B C

A B C

指導医サイン

6. 外傷患者の診断と治療を実施できる。

- 1) 外傷重症度の判定
- 2) 多発外傷患者の治療の優先順位決定
- 3) 熱傷患者の治療

A B C A B C

A B C A B C

A B C A B C

指導医サイン _____